

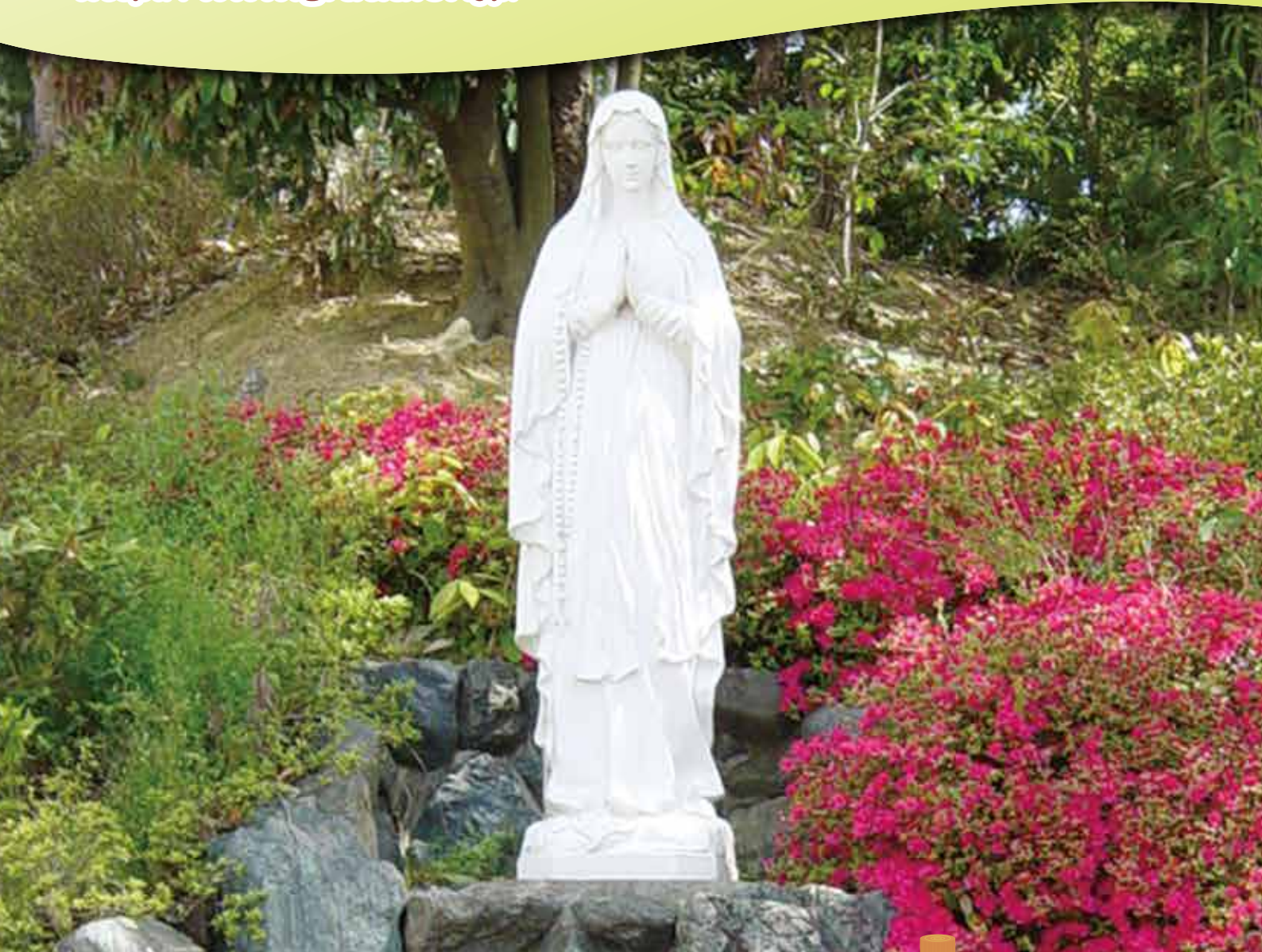
めぐみ

ガラシアニュース

<http://www.gratia.or.jp/>

2026

No. 185



目次

2026年度診療報酬改定にみえる医療のこれから
看護部長挨拶
「もしバナ（研修）」を開催しました
クラウドファンディングに挑戦
ホームページをリニューアルしました

お知らせ

- WiFi設置に向けたクラウドファンディングにご支援お願いいたします
- ホームページをリニューアルしました



2026年度診療報酬改定にみえる医療のこれから



医療法人ガラシア会
施設長
石丸 伸司

医療界では、2年に一度厚生労働省が診療報酬の改定を行います。有料病室や健診収入を除けば、病院のほとんどの収入はこの改定で決まりますので、どの病院も固唾をのんで行方を見守ります。また、診療報酬の改定にあたっては、国がこれまでの医療行政を見直し、近い将来の医療・ケア像、ひいては現場の病院・医療従事関係者に対する求めを示します。

今回の方針を読むと、これまでになかった種類の求めがあることに気づきました。一つは、感染症の流行時を除き、原則として病院面会を自由にする、もう一つは入院患者さんに対する身体的な拘束を極力減らすことです。2019年末から実質3年間続いたコロナ禍で、どの病院もかつてなく厳格な感染症対策を迫られました。予防接種やマスク着用の徹底、手洗いの励行の他、厳しい面会制限はその一環です。当院ホスピス病棟でもかなりの制限をせざるを得ませんでした。その結果、ぎりぎりまで入院をためらう方が続出しました。しかし面会制限そのものが入院患者さんの回復意欲をそいだのではないかという議論が、今回の改定につながりました。当院でも6月から、他の患者さんの迷惑にならない限り、自由に面会していただくこととしました。

身体的な行動制限（拘束）については、従来、不慣れな環境での入院生活中、思わぬ転倒による骨折などを起こさないよう、またチューブなど医療器具を装着する苦しさから外してしまわないよう、といったリスク防止を目的として行われてきました。これらの制限が患者さんの尊厳を損なうだけではなく逆に回復を妨げている側面にも注目して、今回の方針変更につながりました。このような拘束を外す試みはすでに高齢者施設では先行して行われてきており、やはり転倒による骨折は一定の確率で起こることも事実です。

これまで、面会や行動の制限については、患者さんを守るためという思いで、スタッフ自身も心苦しく思いながらもしてきましたが、今回の改定は、制限そのものが患者さんの意欲をそぐのではないか、という自省が考え方の転回につながったと言えるでしょう。事故は必ず起こる、それでもできる限り重篤化に至らないよう配慮をすると同時に、人間としての尊厳を損なうほどの制限は行わない、という高度なケアが求められたと考えています。私どものケアも、患者さん自身の回復する力に信頼し、考え方を変える時が来たようです。皆様方のご理解もぜひお願い申し上げます。

看護部長挨拶



看護部長
梶原 加代子

このたび、4月1日付けで看護部長に着任いたしました梶原加代子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

当院では、2005年に開設したホスピス病棟をはじめ、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床を有し、それぞれの機能を活かした医療・看護を提供しています。

ホスピス病棟では医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療相談員、チャプレン、ボランティアなど多職種が連携し、患者さま、ご家族を支えています。

疼痛コントロールのための入院や、ご家族の介護負担軽減を目的としたレスパイト入院にも対応し、外出や外泊も可能です。「ホスピスだから」とイメージにとらわれることなく、ご本人やご家族がどのように過ごしたいのかを大切に

しながらともに考えてまいります。

回復期リハビリテーション病棟では専門職による集中的なリハビリテーションを通して、病気やけがによって低下した機能の回復と自立した生活への復帰を支援しています。

地域包括ケア病床では、在宅復帰や在宅療養の継続を見据え、多職種が連携しながら支援を行うとともに、レスパイト入院にも対応しています。

看護は、人と人とのつながりの中で支えあう大切な仕事です。当院の理念である「慈しみの心」を大切にしながら、スタッフ一人ひとりがやりがいを持って働き、地域の皆さまから信頼される看護部を目指して取り組んでまいります。

今後ともご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

「もしバナ（研修）」を開催しました。

5月19日、もしバナマイスター野口直美先生を講師に迎え、多職種が対話を通じて価値観を共有し、ACP（※）を考える研修を行いました。皆さんは、「もしバナ」ゲームをご存じでしょうか。36枚のカードを使い、人生の最期に大切にしたいことは何かについて、少人数で語り合い、自己の価値観や死生観を改めて言葉にするゲームです。

今回は、参加者の多くが初めての体験でした。余命数ヶ月と宣告されたと自分に置き換えて、それぞれのカードの意味を深読みし、自分が人生最期の時に大切にしたいことは何か自問自答し、目の前のカードを選んでいきます。ゲーム終盤は、一番大切にしたい究極の3枚を選出します。それをグループのメンバーと語り合います。大切にしたいことは、決して他者とは同一ではなく多様性に富んでいると体感し、お互いの語りを遮らず聴き合います。

このゲームを通じて、家族と同様に行ってみたい、自分自身が家族に何を大切にしたいのか伝えているだろうか、また、家族のことをどれほど理解しているだろうか、と参加者の多くから意見がありました。余命と云われ自分の心が家族の心が「ゆらぎ」変化し、何を大切にしたいのか問われ言葉にして改めて「気づき」、それは他者と同一でなく「多様性」に富んでいると、参加者が体感した貴重な研修でした。



病院では様々な社会背景・病歴の患者さん・ご家族との関りが必須である中、それぞれの価値観を尊重した意思決定支援は重要な課題です。今回、職員が多職種で価値観を共有しながらACPを考える機会にできたことは、院内におけるACP実践の推進に一步繋げることができたと考えます。

皆さんも、一度「もしバナ」に触れてみては、いかがでしょうか。

看護部長補佐 浅野 弘美

（※）『ACP（Advance Care Planning）とは、将来の変化に備え、医療及びケアについて本人を主体に、ご家族や近い人、医療者や介護者が繰り返し話し合いを行い本人の意思決定を支援する取り組みのことです。』

クラウドファンディングに挑戦

この度、患者様・利用者様の療養環境の改善を図るため、また、職員の働き方改革を実施するため施設内にWiFi環境を整えるプロジェクトをクラウドファンディングで実施することとなりました。

インターネットを使っの検索や家族・友人とのLINE、動画の視聴などなど、患者様・利用者様にとって今やスマホを使って通信されることは当たり前になっています。ガラシア会は山裾に立地し携帯電話の電波も届かないエリアがあり、利用される皆様からWiFi環境の整備を求める声があがっておりました。大阪府下の病院でもクラウドファンディングに挑戦され、病院等の設備を整える活動も広く行われていることから、今回我々も挑戦することとなりました。新たなガラシア会を構築していきたいとご支援いただけましたら幸いです。

クラウドファンディングは、（株）コングラント社のサイトを利用しています。QRコードからクラウドファンディングページにアクセスできます。寄付サイト以外にも、リーフレットに添付の郵便振替用紙もご利用いただけます。皆様からのご支援をお待ちしております。

クラウドファンディング
プロジェクトリーダー 福島 成之

クラウドファンディングに
挑戦中！

WiFi環境整備のため
ご寄付を
お願いいたします

申込方法など詳細は
裏面のQRコードから

医療法人ガラシア会

寄付サイトは、右側のQRコードからアクセスできます。
リーフレットも設置しておりますので、合わせてご覧ください。

入院しても、大切な人とつながり自分らしく過ごすために
WiFi環境が必要です。

目標
金額 **1,500** 万円

WEB申込

2026年 **8月31日**（月）まで

いただいたご寄付は、2026年内の開通を目指し、
病院内のWiFi設置費用に充てさせていただきます。

上記、WEB申込のQR
コードを別添しています。

WEB申込のところ、下に
別QRコードがあります。
サイトに誘導されますが、
別のルートとなるため、今
回の（右下側）のQRコード
をお願いします。



ホームページをリニューアルしました

ガラシア会のホームページですが、制作してから10年以上経っていたことから、このたび刷新いたしました。受診に関することや入院に関することなど、わかりやすい内容に全面改修となっています。スマートフォンやタブレットの画面にも対応させていますので、より見やすくなっています。イベントや感染症など皆様にお伝えしたい内容も、リアルタイムに発信できるようになりましたので、ぜひ新しいホームページにアクセスしてみてください。

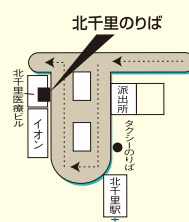
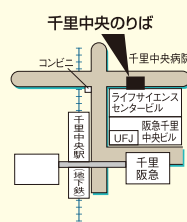
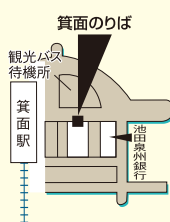


広報委員会 福島 成之



●千里中央・北千里・箕面駅からシャトルバスを運行しています。

〔送迎バス各のりば〕



ガラシア訪問看護ステーション

TEL 072-727-1866 FAX 072-729-3311
2020年8月から土曜日も開設しています

介護老人保健施設

ニューライフガラシア

TEL 072-729-2346 FAX 072-729-7951

指定居宅介護支援事業所

ケアプラン ガラシア

箕面市小野原東 3-5-19
TEL 072-729-2347 FAX 072-734-8484

ガラシア園田クリニック

兵庫県尼崎市小中島2丁目17-1
TEL 06-4960-3800

スタッフ募集の
ページQRコード



医療法人ガラシア会 **ガラシア病院** 日本医療機能評価機構認定病院

〒562-8567 大阪府箕面市栗生間谷西6丁目14番1号
TEL.072-729-2345 FAX.072-728-5166
<http://www.gratia.or.jp/>



■診療受付時間
平日／ 8:30～11:30
12:30～15:30
土曜日／ 8:30～11:30

■休診日
日曜、祝祭日、土曜午後
12/30～1/3

★ スタッフを募集しています、詳しくはホームページをご覧ください。

編集後記

先日、昼食にレストラン入ると席案内は人でしたが、注文はタブレット、配膳はロボット、水はドリンクバー、食事を終えての会計はセルフレジで『ご利用ありがとうございました。またのお越しをお待ちしております。』とレジから流れてくる。スーパーでの買い物や電車に乗ることも、今や様々な分野で無人化が進み、人との関わりが薄らいでいます。医療・介護の世界も無人化の流れがすぐそこに迫ってきたように思います。健康診断はカプセルに入ると自動診断されて…みたいな。いつまでも人の温かさが感じられるガラシア会でありたいと思います。



編集・発行
広報委員会

N.F